

# ポートフォリオによる自己評価

—Can-do チェックシートと文化体験記録を通じた気づき—

アラール・アハマド・シュアイブ

国際交流基金カイロ日本文化センター

## 基本情報

実施機関名	国際交流基金カイロ日本文化センター
実施コース名	一般コース レベル： <input checked="" type="checkbox"/> A1 <input type="checkbox"/> A2 <input type="checkbox"/> B1 <input type="checkbox"/> B2 <input type="checkbox"/> C1 <input type="checkbox"/> C2
実施日時または期間	6ヶ月
授業時間	120分@1コマ、2回×18週=36回
授業担当教師	<input checked="" type="checkbox"/> アラール・アハマド・シュアイブ
1クラスの学習者数	26人
学習者の属性	性別：男性10人 女性16人 年齢：10代2人、20代16人、30代7人、40代1人、 50代0人、60代以上0人 職業：中学生0人、高校生0人、大学生9人、会社員14人、 その他3人
使用教材	<input checked="" type="checkbox"/> 『まるごと』 <input checked="" type="checkbox"/> 入門 ( <input checked="" type="checkbox"/> かつどう <input checked="" type="checkbox"/> りかい) <input type="checkbox"/> 初級1 ( <input type="checkbox"/> かつどう <input type="checkbox"/> りかい) <input type="checkbox"/> 初級2 ( <input type="checkbox"/> かつどう <input type="checkbox"/> りかい) <input type="checkbox"/> 初中級 <input type="checkbox"/> その他の教科書： _____

## 1. はじめに

国際交流基金カイロ日本文化センター（以下、JFカイロ）の日本語講座は、6か月のコースである。A1コースは、上掲の基本情報の表にあるように、『まるごと—日本のことばと文化—』入門（以下、『まるごと』と略記）を使用し、授業を行っている。6か月のコースで『まるごと』の1課から9課を教えている。1回の授業は120分で、週に2回行われている。各課の内容を3回の授業で扱い、1回目の授業で『かつどう』、2回目、3回目の授業で『りかい』を教えている。その理由は、エジプト人の学習者は文法学習を大切に考えている人が多く、『かつ

どう』の中の活動やタスクを通して気づいた言語知識（文法や語彙・表現）を、続く『りかい』の2回の授業でしっかり確認・練習したいという要望があったからである。

JF カイロの日本語講座では、文化体験プログラムにも力を入れている。日本文化や日本人の生活習慣、考え方などに興味を持っている学習者が多く、6か月のコースの中で2回、文化体験授業を行っている。

評価については、筆記試験が中間試験と期末試験の2回、期末試験にはオーラルテストも行われている。また、試験ではないが、トピックによっては授業中に作文の課題が出され、提出が義務付けられている。

JF カイロの日本語講座では、開設当初から、ポートフォリオによる自己評価にも力を入れてきた。中間、期末の試験期間に「ポートフォリオのふり返し時間」を設け、教師と学習者、学習者同士がポートフォリオに残された記録やコメント、感想などをベースに日本語学習の中で学んだこと、気づいたことなどを話し合っている。教師は学習者から提出されたポートフォリオを評価し、コース終了要件の一つとしている。

本報告は、JF カイロの日本語講座における「ポートフォリオを用いた評価」について報告する。ポートフォリオ導入当初（2014年度）は、学習者はポートフォリオに何をどう記録すればいいのか、何のために残さなければならないのか、自己評価にどのように活かせばいいのか、わからないことが多かった。本報告では、ポートフォリオを用いた評価にどのような意義があるのか、どのように学習に結びついていくのかを、学習者にどのように説明し、その結果、学習者のポートフォリオを用いた自己評価に対する考え方や意識、姿勢がどのように変わっていったかについて、2016年度の実践を報告する。

## 2. 実践の背景

### 2.1 ポートフォリオ導入の経緯

JF カイロの日本語講座で日本語を学び始めた学習者にとって新鮮だったのは、『まるごと』の内容やその教え方だけではなく、ポートフォリオ作成であった。それは、これまでエジプトの教育ではポートフォリオ作成や、学習者自身による自己評価の考え方やそのシステムがなく、まったくの新しい体験だったからである。エジプトでは学習の評価をするのは教師だけという考え方が強い。そのため、2014年度に初めて日本語講座の授業にポートフォリオを導入したとき、多くの学習者が教室の中と外で学んだことや経験したことを順番にファイルに整理するのは時間の無駄だと考え、ポートフォリオ作成のせいで日本語学習が遅れると訴える学習者もいた。

このような状況の中、教師はコース開始時にポートフォリオを作ることと、Can-do チェックシートの意義と使い方を学習者に丁寧に説明すると同時に、ポートフォリオをコースの最終

評価に組み入れることによって、学習者のポートフォリオに対する意識が変わり、さらに教師がポートフォリオを評価し、学習者に丁寧にフィードバックすることによって、学習者が自分の学習のふり返る作業に真剣に取り組むようになるのではないかと考えた。そこで、ポートフォリオを最終評価の一部にすることとした。

## 2.2 ポートフォリオの内容

ポートフォリオは、(1) 短期目標・長期目標シート、(2) Can-do チェックシート、(3) 文化体験記録シート、(4) 作文・ワークシートの4つのシートから構成されている。以下にそれぞれの内容を簡単に説明する。

### (1) 短期目標・長期目標シート

学習の目標が設定されていなければ、どの方向に学習を進めればいいのかかわからず、同じところを堂々巡りすることにもなりかねない。学習者は、コース開始時に、最終的に自分が日本語を使って何ができるようになりたいのか、長期目標（最終到達目標）と、今学期、あるいはこの一年、最終目標達成のために何ができるようになりたいのか、短期目標をシートに記入した（長期・短期目標シートの詳細は、資料1を参照のこと）。

### (2) Can-do チェックシート

毎回の授業が終わった後で、学習者は、当日の授業内容について何ができたか、何ができなかったか、自己評価（自分ができたと思う星の数だけ黒く塗りつぶす）し、その理由を書いた。チェックシートの詳細は、資料2を参照のこと。当初、多くの学習者は、星を塗りつぶすだけで、ほとんどコメントを書かなかった。書いてある場合でも、「今日は楽しかった」「今日は難しかった」などのような簡単なコメントだけで、何が楽しかったか難しかったかなどについては書かれていなかった。

### (3) 文化体験記録

上述したように、JF カイロの日本語講座には、一学期に2回、文化体験授業がある。各レベルの文化体験授業の内容は、学習者の希望によって異なっている（例えば2016年度のA1コースでは、「書道」と「寿司」の体験授業を行った）。文化体験授業では、事前にスケジュールを学習者に知らせ、学習者は事前学習として自分たちでその文化について調べ、調べた内容と文化体験の日に実際に自分たちが行ったことと比べ、気がついたことや疑問に思ったことを文化体験記録に書いた。学習者が自由に自分の考えをしっかりと述べられるように、アラビア語と英語と日本語による記述を認めた（文化体験記録シートは、資料3を参照のこと）。

### (4) 作文・ワークシート

各トピックにある作文・活動シートを使って、授業中、学習者に作文を書かせた。学生が実際に書いた作文例は、資料4を参照のこと。

### 2.3 ポートフォリオの評価

ポートフォリオをどのように評価するのかを、学習者に周知させるために、学期最初のオリエンテーションのときに、ポートフォリオ評価のルーブリックを学習者に配布した。ルーブリックは、以下の4つの評価ポイントから構成されている（詳細は、資料5を参照のこと）。

- ① 整理：授業で配布された資料が整理されているか
- ② 内容・構成：授業で配布された資料がそろっているか
- ③ Can-do：自己評価がきちんとなされているか
- ④ 振り返り：文化体験についての振り返りの内容が書かれているか

中間、期末の試験時に合わせて、ポートフォリオの振り返り授業を行い、学習者間で自分が作成したポートフォリオを見せ合い、その内容について説明したり質問応答をしたりした。そのあと、教師がルーブリックを使って学習者のポートフォリオを評価した。ポートフォリオの得点が70%以上であれば、合格だと認められることとした。

### 2.4 ポートフォリオの振り返り授業と課題

JF カイロの日本語講座では、2104年度の開講時よりポートフォリオ振り返り授業を一学期に2回（中間・期末）行ってきた。振り返りの時間は、1コマ120分で、次のような流れで行った。

	活動内容
1	クラスを5つのグループに分ける（1つのグループは5人か6人）
2	グループのメンバーは、それぞれ自分のポートフォリオにどんなものを入れたかについて、グループのメンバーの前で説明する
3	グループのメンバーは、ルーブリックの評価基準にしたがって、グループで一番いいポートフォリオを一冊、選ぶ
4	選ばれた5冊のポートフォリオを作成した学習者は、クラス全体の前で自分のポートフォリオについて説明する
5	振り返り授業の終了後に、学習者一人ひとりに自分が作ったポートフォリオについての感想（いいところ、修正したいところなど）をアラビア語か英語で書かせた。

教師側の願いとしては、振り返りの授業で、グループのメンバーのポートフォリオを見て、内容について質問したり、自分の体験を話したりすることを通して、ポートフォリオの作り方や、ポートフォリオに何を入れたらいいかなどについて意見や考えを出し合うことを期待していた。しかし、コースが始まってしばらくは、学習者が振り返りシートに書く文章はいつも短く、自身の学習過程を振り返り、学習方法の改善を考えるのに役立つようなポートフォリオに

はなっていなかった(資料3を参照)。そこで、教師は学習者に学習に役に立つポートフォリオ・振り返りシートを書いてもらうために指導の方法を考える必要があった。

次章で、このような問題を解決するために、2016年度新たに取り組んだポートフォリオ作成促進のための工夫について述べる。

### 3. 実践内容

当初、ポートフォリオについて、学習者から「Can-do チェックシートと文化体験記録に何を書けばいいかわかりません」という声がよくあがっていた。それは前述したように、エジプトの教育には学習者が自己評価をするシステムがないからだと考えられる。学習者はCan-do チェックシートにコメントを書くときに、「今日の授業は楽しかったです」、「授業の内容がわかりました」などの短い感想のみを、また、文化体験記録にも「面白い体験でした」、「寿司はおいしかったです」などの簡単なコメントのみを書くことが多かった。

どうすれば、学習者が自分の学習過程を振り返り、日本語学習をどう進めればいいのかを考えるために役に立つコメント記入ができるようになるかを教師全員で考えた。そして、2016年度は、2つの新しい方法を試用することになった。

一つ目の方法として、Can-do チェックシートや文化体験記録シートに、学習者が振り返りをする際の手がかりやヒントを示すための質問を加えてはどうかと考えた。質問に具体的に答えてもらうことにより、振り返り授業のときに学習者間で何を体験したのか、そして何を感じたのかが共有しやすくなるのではないかと考えた。

二つ目の方法として、学習者に振り返りの意義をわかってもらうために、教師が説明するだけでなく、日本語講座の先輩の学習者が協力してCan-do チェックシートや文化体験記録の記入方法を指導することを考えた。先輩の学習者という、自分たちの近い存在の人たちから意見やアドバイスを聞くことによって、学習者のポートフォリオ作成や振り返り行動についての考え方も柔軟になるのではないかと考えた。以下に、新しい試みをまとめる。

#### 3.1 教師の説明

教師は、なぜCan-do チェックシートと文化体験記録シートを記入したほうがいいのか、その目的と意義を説明した。

まず、Can-do チェックシートについては、継続的にCan-do チェックシートにチェックを入れることによって、自分の学習の進み具合を視覚的に確認することができ、自分がしっかり理解・運用できているところと、復習や練習を継続的に繰り返す必要があるところが簡単に分かることを強調した。

次に、文化体験記録シートについては、自分の文化体験を記録に残すことによって、日本文

化について知るとともにエジプトの文化への理解を深めることができる点を強調した。そして、エジプト文化と日本文化の類似点や相違点について考えさせるために、いくつかの質問を準備した。例えば、「この文化体験をして、新しく発見したことは何ですか」などである。詳細は、資料6を参照のこと。

### 3.2 先輩学習者のアドバイス

先輩の学習者は自分たちが作ったポートフォリオについて、具体的な例（自分たちが描いたコメントや記録、写真など）を見せながら、Can-do チェックシートと文化体験記録について後輩の学習者に以下のようなアドバイスをした。

- ① Can-do チェックシートに具体的に「～できた」「～できなかった」のようなコメントを書けば、振り返りの時に自分のレベルが上がったかがわかりやすくなる。
- ② Can-do チェックシートは教師とのコミュニケーション手段として使うことができる。勉強で困ったことがあった場合は、困ったことについてコメントを書けば、教師は有効なアドバイスを返してくれる。
- ③ 文化体験記録に自分の体験とその感想を詳しく書くことを通して、その体験をふり返り、気が付いたことや発見したこと、疑問に思ったことなどを再確認できる。また、日本語のレベルによって文化についての理解や感想が変わることがあり、以前、自分が感じたり考えたりしていたことを読み返すことは面白いことである。

後輩の学習者は、先輩の学習者のアドバイスを聞いて、「Can-do チェックシートは自分の学習過程について考える際に役に立つことが分かった」というコメントを残している。また文化体験記録については「文化体験記録をふり返る授業で、自分が行ったことをよく考えたら、いろいろなことを学ぶことができる」というコメントがあった。

## 4. 実践の成果

教師の説明を聞き、実際に先輩の学習者の Can-do チェックシートのコメントや文化体験記録シートに書かれたことを読んで、後輩の学習者は Can-do チェックシートや文化体験記録シートに以前より詳しく自分の体験とそのときの感想を書くことができるようになった。学習者の中には、日本語学習の中で体験したポートフォリオ作成を、日本語と全く関係がない大学の専門科目の学習のために応用し、自分の学習記録を残す学習者もいた。例えば、歯学部の大学院の学生は授業記録をファイルし、達成感に関するコメントを授業記録につけていた。学習者はポートフォリオを作り、それを読み直すことによって、自分の学習過程を記録・整理することの重要性に気づき、他の科目の学習に活かそうと考えたようである。

学期終了後、Can-do チェックシートと文化体験記録についてどう思うか、役に立ったかど

うかを確認するためのアンケート調査(自由記述)を行った。23名がアンケート調査に答えた。Can-do チェックシートと文化体験記録をどう思うかの質問には以下の答えがあった。

(1) Can-do チェックシートについて

Can-do チェックシートは日本語学習に役に立ったかどうかの質問には16名は「はい」と答えた。自由記述のコメントとして、以下のような感想が書かれていた。

- ・ 自分の日本語が上達したかどうかチェックしやすくなった。(10名)
- ・ Can-do チェックシートに次は何を勉強したいなどの目標設定ができて、それに対して教師が積極的に応援してくれた。(3)
- ・ 教師のアドバイスのお蔭で、私の勉強の仕方がよくなった。(2)

(2) 文化体験記録について

文化体験記録は日本の文化の理解を深めたかどうかの質問には18名は「はい」と答えた。自由記述のコメントとして、以下のような感想があった。

- ・ 文化体験記録は自分の考えをうまく表現するのに役に立った。(2)

## 5. これからの課題

教師の気づきとして、学習者の日本語レベルが上がると、ポートフォリオの形と内容が変わるということがあった。例えば、入門 A1 レベルの学習者の前半と後半のポートフォリオに変化が見られた。前半のポートフォリオでは、日本関連のイベントに出席して文化体験記録を増やすことや、ポートフォリオの表紙の形や飾り、整理の仕方を一生懸命に工夫していた(資料7を参照)。それに対して、後半のポートフォリオでは、表紙の形や色・模様はシンプルになるが、レッスンのまとめや学習者自身が作った教材が増えていた。それは、語彙リストや文法練習用のイラストなどである(資料8を参照)。

学習者のレベルが上がるにつれて、パソコンを使って教材を作るケースが多くなるため、将来的には電子媒体のポートフォリオの可能性もあるのではないかと考えている。その場合、どのような内容がふさわしいのかを今後の課題として考えてみたい。

【資料1】長期目標・短期目標シート(例)

**1- Japanese Language Study Short term and Long term Objectives**

1.1 What is/are your long term objective(s) of studying Japanese Language?  
 ما هو هدفك/ أهدافك من دراسة اللغة اليابانية على المدى الطويل?  
be able to understand, speak and read Japanese well enough to  
have a conversation on adult level. Also to live in Japan  
for an extended period of time to study ikebana without needing  
to use English to open my own flower shop. 花はいい? Great Aims!

1.2 What is/are your short term objective(s) of studying Japanese Language?  
 ما هو هدفك/ أهدافك من دراسة اللغة اليابانية على المدى القصير?  
to understand every Japanese word my sensei uses in class  
and be able to express myself in class without using  
any English or Arabic. Also pass this level with very clear and good goals!  
good grades かんぱい!




この学生は、長期目標を「日本人と大人レベルの会話をしたり、さらには日本に住んで生活ができるだけの日本語を話したり読んだりできるようになりたい」、短期目標を「授業中、英語やアラビア語を使わずに日本語で自分が言いたいことを表現できるようになること」記入している。

【資料2】Can-do チェックシート(例)

Date	Can-do No.	トピック3 レッスン5 かつどう	Comment
12/2	9	Talk about your favorite foods	☆☆☆
	10	Offer someone a drink	☆☆☆
	11	Talk about your breakfast	☆☆☆
	Teacher's Comment		If you listen to CD many times, you can memorize easier. We will practice a lot about particles "と" etc. to make your more better to memorize as a few phrase.
Date	Can-do No.	トピック3 レッスン5 りかい	Comment
1/2	9	にくが すきです。	☆☆☆
	10	やさいは すきじゃありません。	☆☆☆
	Teacher's Comment		we will practice kanji more :)
2/2	11	あさごはんを たべます。	☆☆☆
	12	コーヒーを よく のみます。	☆☆☆
	Teacher's Comment		I'm glad we took the grammar to explain last lesson. I feel like I totally memorized it now. The tough part of the lesson was all the particle. I got confused sometimes when writing the composition. You were very good :) Just think of the flow in the composition and you will know the right particle.



【資料3】文化体験記録シート(例)

文化体験記録 : 「のり巻き作り」体験

コメント:

なまえ \_\_\_\_\_

we made sushi today it was very fun I love sushi and now I know how to make it when I cook it.

it was very delicious and I hope to do it again with the group because part of my enjoyment with making it with these people. (^^) great!

it feels great to be able to get close to Japanese culture and I hope we make more Japanese dishes.

Don't worry! (^^) Maybe in the next levels we will do it again!

★注記

ポートフォリオ作成を始めたころの「文化体験記録シート」には、上掲サンプルの赤字部分のように、「とてもおもしろかった」「とてもおいしかった」というような短い感想だけが書かれているケースが多かった。

【資料4】作文シート(例)

レッスン 5 (p59)

Class: A1

「わたしの あさごはん」

あなたは なにが すきですか。なにを よくたべますか。

あなたの あさごはんについて えと ぶんを かきましょう。



わたし  
わたしは パンと くだものを よくたべます。  
卵は あまり たべません。  
たまご たべません。  
コーンは あまり たべません。  
→ も

【資料5】ポートフォリオ評価のルーブリック

評価ポイント	もう少し (4)	できた (7)	よくできた (8)	素晴らしい (10)	得点
内容 (×4)	教師が配布した資料が部分的に消失し、揃っていない	授業で教師が配布した資料が全部入っている	教師の配布物以外に、自分で調べたものが少し入っている	自分で調べた資料や他の関連資料が工夫して入れられている	/40
Can-do チェック (×3)	できたこと、できなかったことがチェックされていない	その日の授業でできたこと、できなかったことがチェックされている	できたこと、できなかったこと以外に、コメントが少し書かれている	できたこと、できなかったこと以外に、気づいたことや考えたことが書かれている	/30
整理 (×2)	・ファイルに名前がない ・資料がまったく整理されず、バラバラに入っている	・ファイルに名前が書いてある ・完全ではないが、一応、ビックごとに分けて整理されている	ビックごとに分けて整理されている	資料がみつけやすいように、ビックごとに分けて、見出しなどが付けられて整理されている。	/20
ふり返り (×1)	文化体験記録やふり返りシートが入っていない	文化体験記録やふり返りシートが入っている	文化体験について、感想が書かれている	文化体験について、感想だけではなく、気づいたことや考えたことが書かれている	/10
計					/100

注記

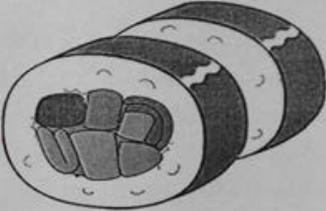
- 4段階評価を表す「もう少し」「できた」「よくできた」「すばらしい」欄の（ ）内の数字は、得点を表す。
- 評価ポイントの項目のあとに書かれた（×4，3，2，1）は、それぞれの項目の重み付けを表している。
- 実際の得点計算は、例えば、「内容」について、「よくできた」にチェックが入った学習者の得点は、 $8 \times 4 = 32$ 、つまり32点となる。

【資料6】文化体験記録シート(2016年度版・例)

ふんかたいけん きょうく 《 すし 》

か  
書きましよう

What did you notice through this experience? How was your sushi? Delicious? Was it difficult?



コメント:  
れべる 1.A なまえ フェリシア イハブ

I thought a lot about tasting it, some people encouraged me to do saying that it's their favourite meal and others told me As I don't like fish I wouldn't like it, so I was a little bit afraid. In the beginning everything was arranged even giving the knife have a special way: the lawyer that we call the  $\text{すし}$  by made rolling it easier, making the  $\text{すし}$  was really nice fun and easy. As I called "Maki" and "swiss roll" before. It was easy for me but the balance between quantity of  $\text{すし}$  and the fill needed more accuracy. Actually I put the exact quantity but As I know myself I should put more fill, less  $\text{すし}$  because I like to feel the taste of the fill very well, My own  $\text{すし}$  the first piece was strange a little bit maybe because the  $\text{すし}$

教師コメント: Glad that you loved it  $\heartsuit$  :) and that rolling was easy to you.

